

第 5 回策定委員会における意見とその対応

意見

- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会、東京 2020 オリンピック・パラリンピックと表現が混在しているため、整理すること。

対応

- ・東京 2020 大会関連マーク（エンブレム、ロゴ、スローガン等）を管理する公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下、組織委員会）に取扱基準を確認したところ、「東京 2020 大会の PR などではなく、単に事実を伝えるために使用する場合には、組織委員会は特段関知しない」との回答をいただきました。
- ・このため、組織委員会から提供していただいた取扱基準を参考に「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」といった表現で統一しました。

意見

- ・新たな実施計画へ新規事業が位置づけられるよう取り組むこと。

対応

- ・4 つの重点施策それぞれに対して、事業や取組をパッケージ化して包括的に見せることを考えています。
- ・財政課との調整が必要になりますが、既存事業の中に位置づけられた新たな取組について、新規事業として引き出せないか検討しています。

このほか、事務局から論点を提示して議論いただきました。概略は次のとおりです。

- ・「スマートシティ」に関する議論

結論

- ・具体的な検討が進んでいない段階で総合計画に位置づけることは難しい。現段階では、「スマートシティ」のエッセンスを含む表現を書き込むことが限度ではないか。

基本計画への反映対応

- ・p.14 5 「さらに、選ばれるまち・住み続けるまち」へ向けた重点課題』にある「人口減少問題に対応するため、国においても新たな未来社会である Society5.0 の実現を目指しており、AI や IoT を始めとした新たな技術が進展し、その活用が官民間問わず幅広く求められています。」と記載があるうち、下線部分に「スマートシティ」の認識を含めっていると解釈します。

・「社会全体で子育てを応援する風土」に関する議論

結論

- ・「地域共生社会」の視点は、障害福祉や高齢福祉だけでなく、児童福祉においても重要であることから、重点施策 においても、この視点を書き加えていくこと。
基本計画への反映対応
- ・重点施策 の「基本的な方向性」において、「周産期医療や小児救急医療の体制を維持・継続し、妊娠初期から出産、育児期の切れ目のない支援を充実強化するとともに、誰もが安心して出産・子育てできるよう社会全体で応援する環境づくりを進めます。」とすることで、「地域共生社会」の視点を盛り込むとともに、社会全体で子育てを支援していくこととします。

・「生産性向上の成果指標」に関する議論

結論

- ・本来、生産性の向上は幅広い分野の議論が必要となるが、単独自治体における取組を踏まえると、「先端設備等導入計画の認定件数」のような指標にならざるを得ないであろう。
- ・総合計画審議会の有識者にも協力を仰いでいるので、引き続き検討を進められたい。
基本計画への反映対応
- ・生産性向上に関する指標の設定は難しいものの、分野別施策4 基本施策4 - の「課題」で「生産性の伸び悩み」について触れ、「取組方針」で「生産性向上や人材確保・育成などの中小企業等の課題に対応」と記載するとともに、重点施策 の「基本的な方向性」において、「生産性向上の取組を支援」していくこととします。

・「浸水しないまちづくりの成果指標」に関する議論

結論

- ・数値ではなく定性的な表現を使った指標設定も考えられる。一方で、定性的な表現を使った指標は、他に設定されていないので、指標の設定全体に影響があるのではないか。
- ・例えば、国では「立地適正化計画の策定市町村数」などを指標として掲げていることもあるので、「浸水しないまちづくりに関する計画・構想等の数」を指標として設定することは可能であると考えられる。
- ・土木部長から、「総合浸水対策（第2次実施計画）を実施した重点対策地区数」に連動する指標を検討する旨の申し出あり。
基本計画への反映対応
- ・担当課と調整中

・その他意見

総合計画審議会における意見で「結婚支援」を求められており、婚活に取り組む事業者への支援（協賛など）を考えている。第3回策定員会でも議論したが、結婚を強いることなく希望を叶える姿勢で進めることや、このほかに具体的な取組が（国の交付金メニューも）ないことから、これ以上の書き込みは難しいのではないか。

以 上